

電機連合の政策・制度実現の取り組みを組合員の皆様によりわかりやすくお届けします。

電機連合 総合産業・社会政策部門

臨時国会で、浅野議員がランニングコスト支援やリスキリングについて質疑

第212回臨時国会（2023/10/20～12/13 予定）では、浅野さとし組織内議員が、電機連合の政策要望や職場の声を伝えています。ぜひ注目ください。

重要物資のランニングコスト支援

〔衆〕 予算委員会 (10/30)



産業界からは、重要物資である半導体や蓄電池等のサプライチェーンを対象とした初期投資支援だけでなく、ランニングコストをできるだけ抑えるための支援税制の創設が望まれている。

予算や税制、規制改革等も含めて、あらゆる面で世界に伍して競争ができる政策パッケージを年内に取りまとめる。



岸田総理大臣

政府によるリスキリング支援

〔衆〕 内閣委員会 (11/8)



労働組合や現場の労働者の受け止めとして、転職を前提としたリスキリング支援が行われる不安がある。

個人の能力向上支援の結果として、企業内の昇任、昇格、企業外への転職も含めた処遇改善の動きが円滑な労働移動につながり、雇用の充実が図られていくと考える。



新藤経済再生担当大臣

<これまでの浅野議員の質疑>

- ・〔衆〕 予算委員会 (10/30)
- ・〔衆〕 内閣委員会 (11/8)
- ・〔衆〕 原子力問題調査特別委員会 (11/14)
- ・〔衆〕 内閣委員会 (11/15)
- ・〔衆〕 文部科学委員会 (11/24)



委員会名をクリックすると審議中継を見れますよ。

10/31、厚労省と意見交換

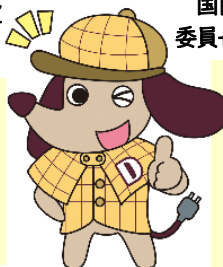
電機連合は障がい児等の家族の両立支援を重点政策に掲げています。職場から改善要望の多い通学支援体制の整備について、障害福祉サービスの移動支援で対応ができないか、厚生労働省の担当者との意見交換を行いました。



手前左から厚生労働省障害部自立支援振興室の照井室長補佐、川名調整官、電機連合 内田社会政策部長

<電機連合の政策>

保護者の付き添いなしで障がい児等が登下校をできるよう通学支援体制の整備を図る。移動支援を地域支援事業から個別支援給付化し、通年かつ長期を必要とする通学支援にも利用可能とする。



11/6、令和6年度税制改正への要望を国民民主党へ伝えました

電機連合は、来年の税制改正審議に先駆けて、国民民主党に対し、デジタル化、カーボンニュートラル、人材育成の観点から、加盟組合からの意見・要望を伝えました。



国民民主党

電機連合

電機連合からは、近藤副委員長、浦書記次長が出席。国民民主党は、大塚政務調査会長、榛葉幹事長、浅野国会対策委員長代理など多数出席。

<電機連合からの意見・要望>

- 企業のデジタル化の推進
- カーボンニュートラルに向けた意識付けの推進
- 製造業におけるカーボンニュートラルに向けた支援
- リスキリングを通じた人材育成の促進・環境整備
- 半導体関連産業の発展に向けた取り組み など